

日本ピア・サポート学会

第24回研究大会・福井大会 2次案内

ピア・サポートがつなく、子ども・学校・地域の未来 ～持続可能な幸福 (Well-being) を自らつくりだす人づくり～

期日：2026年9月21日（月・祝）～22日（火・祝）

主催：日本ピア・サポート学会

主管：日本ピア・サポート学会福井大会実行委員会

後援：日本学校教育相談学会・福井県教育委員会・福井市教育委員会・福井新聞社

協賛：公益財団法人 学校教育開発研究所

会場：AOSSA （福井県福井市手寄1丁目4番1号）

ごあいさつ

現代社会は、多様化と複雑化が進み、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しています。先行きの見えにくい時代の中で、一人一人が自ら「持続可能な幸福 (Well-being)」をつくりだし、他者と支え合いながら生きていく力が、これまで以上に求められています。

ピア・サポートは、こうした力を育むための実践です。仲間と気持ちを理解し合い、互いの立場や思いを尊重しながら支え合う経験を通して、子どもたちは安心感や自己への信頼を深めていきます。そして、自分だけでなく、周囲の人の幸せにも目を向けながら、よりよい関係性を築く力を身につけていきます。このような学びは、学校にとどまらず、家庭や地域にも広がり、人と人をつなぐ関係性の基盤となっていきます。

令和に改訂された『生徒指導提要』では、生徒指導の目的を「児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えること」とし、すべての教育活動を通じて子どもを支えるという理念が明確に示されました。

福井県では、教育総合研究所教育相談センターが中学校の学級経営プログラムとしてピア・サポートを導入してから10年が経ち、現在では多くの小中学校・高校に広がり、魅力ある学校づくりや発達支持的生徒指導の手立てとして成果をあげています。

本年度の研究大会では、「ピア・サポートがつなく、子ども・学校・地域の未来～持続可能な幸福 (Well-being) を自らつくりだす人づくり～」をテーマに掲げました。ピア・サポートが Well-being の実現にどのように寄与し、その実践を学校や地域にどのように広げ、根づかせていくことができるのかについて、皆さまと共に考え、学び合いたいと考えております。

開催地である福井県は、「幸福度日本一」として知られ、人と人とのつながりを大切にする風土と地域に根ざした教育・子育ての取り組みが息づく地域です。本大会が、ピア・サポートを通して子ども・学校・地域をつなぐ視点を共有し、誰もが自分らしく幸せに生きられる社会の実現に向けた一歩となることを願っております。

多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

第24回研究大会・福井大会大会委員長 塚田 孝子

1. 大会日程

1日目 9月21日(月・祝)

8:30～	9:00～9:20	9:30～10:40	10:50～12:30	12:30～14:00	14:00～17:15	18:00～20:00
受付	開会行事	基調講演	大会企画 シンポジウム	昼食休憩 ポスター発表	研究・実践発表 自主シンポジウム	情報交換会

※同時開催 9:00～18:00 ポスター展示

2日目 9月22日(火・祝)

9:00～	9:30～12:30
受付	ワークショップ

※同時開催 9:30～12:30 ポスター展示

2. プログラム概略

開会行事【9月21日(月・祝) 9:00～9:20】

会長挨拶 大会委員長挨拶 来賓祝辞 学会賞表彰式 事務連絡

基調講演【9月21日(月・祝) 9:30～10:40】

演題：「いつだって人は変わる」

講師：五十嵐 裕子 氏（福井県立福井商業高校教諭）

略歴：福井県立福井商業高校チアリーダー部 JETS顧問 映画「チア★ダン」のモデル
全米大会優勝9回。全国大会優勝多数。

テレビ出演「世界の果てまでイッテQ」「さんま玉緒のあんたの夢叶えたらか」

要旨：チアダンス初心者集団が3年で全米制覇。この偉業を成し遂げた要諦は心を育てることでした。創部20周年の現在も結果を出し続けるチーム経営とは？部員の生徒の演技や言葉を交えながら人が成長する組織のあり方を考えていきたいと思えます。

公演：福井県立福井商業高校チアリーダー部JETS

大会企画シンポジウム【9月21日(月・祝) 10:50～12:30】

テーマ：「地域全体の持続可能な幸福（Well-being）に果たすピア・サポートの役割」

シンポジスト：尾頃 太紀 氏（岡山県倉敷市立葦高小学校教諭）、光旗 郁海 氏（菅田株式会社）、
JETSの卒業生1名、五十嵐 裕子 氏

指定討論者：中林 浩子 氏（下関市立大学教授）

企画・コーディネーター：塚田 孝子 氏（福井県教育総合研究所教育相談センター長）

企画趣旨：これまでの議論を通して、ピア・サポートは、他者との関わりの中で学び合い、自ら考え行動する力を育む営みであることが共有されてきました。下関大会では、「ピア・サポートが主体的学習者の育成に果たす役割」をテーマに、その意義が確認されました。

福井大会では、こうした流れを受け、ピア・サポートを個人の成長にとどまらない営みとして捉え直し、他者と支え合いながら「持続可能な幸福（Well-being）を自らつくりだす人づくり」や「よりよい社会の創造」へと、どのようにつながっていくのかに焦点を当てます。

本シンポジウムでは、ピア・サポートを子ども・学生時代に経験してきた社会人の方々に当

時の学びを振り返り、自身の言葉でその意味や変化、そして未来への展望を語っていただきます。学校教育におけるピア・サポートの意義を多様な立場から捉え直すことを通して、ピア・サポートが拓く次のステージを展望したいと考えています。

ポスター発表【9月21日（月・祝）12:30～14:00】

研究や実践の発表・交流の場として、ポスター発表を開催します。ポスター掲示は、多くの方に見ていただけるよう、記載の時間帯で行いますが、発表者の在席責任時間を設定しています。発表要件やエントリー方法については、後ページをご確認ください。

研究・実践発表（分科会方式）【9月21日（月・祝）14:00～17:15】

1発表35分（発表20分+質疑応答及び座長からのコメント15分）、移動5分とします。分科会の発表は、領域別に対面で行います。同時進行で自主シンポジウムを開催しますので、発表会場数の関係でエントリー数上限に達した時点で締め切る場合もあります。発表をお考えの方は、お早めにお申し込みください。なお、前回大会から、発表要件やエントリー方法がこれまでと変更になっております。後ページをご確認ください。

自主シンポジウム【9月21日（月・祝）14:00～17:15】

会員が自主的にテーマを設定し、企画者が出演者（司会者、話題提供者、指定討論者など）を決め、シンポジウム形式で研究発表や討論をするものです。時間は95分（休憩含む）。研究・実践発表の時間帯に同時並行で開催します。発表会場の関係で、エントリーが多い場合は抽選になることもあります。発表要件やエントリー方法については、後ページをご確認ください。

情報交換会

参加者の懇親を深めるため、1日目の夜に情報交換会を開催します。どなたでも参加できますが、必ず事前にお申し込みください。なお、参加費は、当日集めます。会場は、大会会場と同じ建物内にあります。

日時：9月21日（月・祝）18:00～20:00

会場：ウェルアオッサ TEL 0776-25-0400

会費：7,000円 ※大会当日、受付で集めます。（お釣りのないようにご準備ください。）

ワークショップ【9月22日（火・祝）9:30～12:30】

本大会のWSでは、現場実践に直結する力を高めるため、指導の具体化に焦点を当てたワークショップを企画しました。明日から使える学びを提供します。

ワークショップ① _____ 講師：池 雅之氏（高知工科大学）
「ピア・サポートに生かす『傾聴』講座」

本ワークショップ（以下WS）では、ピア・サポート活動の基本となる「傾聴」の姿勢と具体的な関わり方を参加の皆様とともに学びます。傾聴は単に話を聞くことだけではなく、相手の気持ちや背景を尊重しながら受け止め、安心して話せる関係をつくる技法です。

このWSでは、評価や助言を急がず、相手のペースに寄り添う姿勢、言葉にならないサインへの気づき、要約や共感的応答の方法などを実践的に扱います。また、ピア・サポーターやその推進者としての限界を理解し、必要に応じて専門機関につなぐ判断も確認します。

初めて活動に参加する方から経験者まで、日常のコミュニケーションにも役立つ内容です。

なお、本WSは、コーディネーター資格取得および資格更新のための必修ポイント（2P）対象講座となっています。

ワークショップ② ————— 講師：大西 由美氏（就実大学）

「ピア・サポートに生かす『コミュニケーショントレーニング』」

私たちの実践の原点であるトレーナー養成標準プログラムの「コミュニケーショントレーニング」は、よりよい関係づくりにとどまらず、他者の状況や必要としていることを理解し、具体的なサポート活動へとつなげる力を育てることを目的としています。皆さんの実践は、養成講座での学びを基盤に、各現場の状況に応じて工夫されていることでしょう。資格認定委員会に寄せられる課題レポートからも、その取り組みが実に多様であることがうかがえます。では、その「コミュニケーショントレーニング」は、サポーターに何を伝え、何を育むものなのでしょうか。

本ワークショップでは、トレーナー養成プログラムの「講義②&演習」に焦点を当て、トレーニングの原点に立ち返りながら、皆さんの実践の目的と意義をあらためて見つめ直すことを目指します。参加者間で情報交流し、実践のブラッシュアップのためのヒントも持ち帰っていただければ嬉しいです。

ワークショップ③ ————— 講師：栗原 慎二氏（広島大学名誉教授）

「対立解決から修復的正義へ」

いじめや暴力行為などの問題が深刻になっています。こうした問題の未然防止は重要で、多くの先生方が人間関係作りやピア・サポートに取り組んでおられます。しかし、実は温かい人間関係作りだけでは十分ではありません。人間関係を作る能力と、人間関係トラブルを解決する能力とは違うからです。温かい人間関係を作るだけではトラブルを回避することはできないし、生じてしまったトラブルを解決することもできないということです。対人関係のトラブルが生じたとしても、それを解決できる子供たちやコミュニティーを育てる必要があります。

本WSでは、実際に起こってしまったトラブルにはどのように対処すれば良いのか、ということを実験的に学習すると同時に、その背景にある考え方や予防的活動について学んでいきます。なお、今回のWSは、「対立の解決」の先にある「修復的正義」についての講座のため「ピア・サポート トレーナー養成WS」を受講していることが参加条件になります。

ワークショップ④ ————— 講師：中林 浩子氏（下関市立大学）

「サポーターへの動機づけと個人プランニング」

本ワークショップ（以下WS）では、ピア・サポート活動の実践を支える重要な視点である「サポーターへの動機づけ」と「個人プランニング」に焦点を当てます。活動の質は、サポーター一人ひとりの主体的な気づきと行動に支えられており、トレーナーには、その内発的動機づけをいかに促すかが求められます。

本WSでは、トレーナー養成プログラムの講義6を基盤に、動機づけに関する演習をトレーナーの意図を踏まえて体験的に理解していただくとともに、エゴグラムを活用し、サポーター自身の特性や強みを踏まえた個人プランニングの進め方について具体的に検討します。参加者同士の交流も交えながら、ご自身の実践を振り返り、現場に生かせる視点を持ち帰っていただければ幸いです。

ワークショップ⑤ ————— 講師：池本 しおり氏（CYBERDYNE株式会社）

「グループスーパービジョンと守秘と限界」

サポーターの資質向上をめざすグループでの訓練方法として、グループスーパービジョン（以下、GSV）がありますが、トレーナー養成プログラムの「講義7&演習」には、「サポート活動前のGSV」と「サポート活動後のGSV」の2種類が示されています。また「守秘と限界」は「プランニング&サポート活動前のGSV」の前に習得するものであり、人権を尊重しながらサポート活動を安全に行うとともにサポーター自身を守るためにも重要な学びであると

いえます。その後サポーターたちは実際のサポート活動に乗り出しますが、活動が順調にいてもいなくても、定期的に「サポート活動後のGSV」に参加し、活動を振り返ったり、その後のよりよい活動につなげたりすることが求められます。

本WSでは、このような一連の流れを演習中心に進めながら、参加者同士の交流も図り、明日からの実践に生かしていただけるようなヒントを共有できればと考えています。

ワークショップ⑥ ————— 講師：音山 若穂 氏（群馬大学教職大学院） 「実践論文の書き方講座—実践研究をラクに進める10のコツ」

授業での実践など、ランダム化比較試験が行えないフィールドでの実証研究の進め方と、論文／研究報告の執筆までを、研究初心者向けに分かりやすく解説します。私は教職大学院で（研究者を目指していない）現職教員学生の研究指導をするうち、多くの学生から「検証」と「文章化」が難しいという声を聞いてきました。今回はそうした現職教員学生レベルを想定して、実践を始める前の準備から研究デザイン、データの収集と統計処理、まとめ方まで、それぞれの「コツ」の形で解説したいと思います。途中、簡単な演習を交えた解説も予定しています。ネットワーク接続ができるパソコンまたはタブレットと、Google（Gmail）アカウントがあると便利です。Googleフォーム、NotebookLM、Claudeを試します。課金不要の範囲で試しますのでご安心ください。

3. 大会参加費と大会参加申込方法

大会参加費を全日程参加と部分参加に分けてご案内します。

(1) 大会参加費

【全日程参加の場合】

	早期申込期間 2 / 1 ~ 6 / 30	一般申込期間 7 / 1 ~ 9 / 18
本学会員	7,000円	8,000円
本学会員以外	8,000円	9,000円
大学生・大学院生（社会人院生の方は除く）	1,000円	2,000円

【部分参加の場合】

	早期申込期間 2 / 1 ~ 6 / 30	一般申込期間 7 / 1 ~ 9 / 18
大会企画シンポジウム（一般/学生）	4,000円 / 2,000円	5,000円 / 2,500円
ワークショップ（一般/学生）	3,000円 / 1,500円	4,000円 / 2,000円
口頭発表・自主シンポジウム・ポスター発表（一般/学生）	3,000円 / 1,500円	4,000円 / 2,000円

*部分参加の場合は、会員・非会員の別はありません。

(2) 大会参加申込方法

右のGoogleフォームにてお申込みいただき、参加費は、Googleフォームに記載されている口座へお振込みください。



●大会参加申込 URL <https://forms.gle/qTNpKPjN4sFvPzrv9>

※振込手数料は、ご自身でご負担ください。

※早期申込は 6/30(火) 23:59までに、申込および振込を完了する必要があります。6/30(火)を過ぎた場合は、早期申込はキャンセルとなりますので、7/1(水)9:00以降、再度一般料金にて申込が必要です。

※一般申込は 9/18(金)までに申込および振込を完了する必要があります。9/18(金)を過ぎた場合は、申込がキャンセルとなります。

※一度入金された諸費用の返金はできませんので、ご了承ください。申込者ご本人の出席ができなくなった場合は、代理の方の出席が可能です。

4. 研究・実践発表およびポスター発表・自主シンポジウム

【発表費用（1発表ごと）について】

	会員（責任者、連名者、企画者）	会員以外（連名発表）	会員以外の学生（連名発表）
研究・実践発表	無料	5,000円（1人あたり）	2,500円（1人あたり）
ポスター発表		3,000円（1人あたり）	1,500円（1人あたり）
自主シンポジウム			

- * 自主シンポジウムの企画は、**本学会の会員のみが行うことができます。**ただし、企画趣旨に基づき、話題提供者や指定討論者が決まるため、会員以外でも発表費はかかりません。
- * 発表責任者は、**本学会の会員で、2026年度までの年会費を納めている方**に限ります。なお、連名で発表する会員も、2026年度までの年会費を納めている必要があります。
- * 口頭発表、ポスター発表に会員以外の連名発表者がいる場合は、**責任者が発表費を取りまとめて、申込とともにお支払いください。**

【発表回数について】

	研究・実践発表		ポスター発表		自主シンポジウム	
	責任者	連名者	責任者	連名者	企画者	登壇者
会員	1回	制限なし	1回	自主シンポジウム と合わせて3回 まで	1回	ポスター発表と合 わせて3回まで
非会員	—		—			
会員学生・院生	1回		1回		1回	
非会員学生・院生	—		—		—	

- * 自主シンポジウムの登壇者とは、話題提供者・指定討論者・司会者（ファシリテーター）を指します。
- * 同一の研究実践についての発表は、2発表までとします。

【発表方法について】

A. 研究・実践発表、ポスター発表

(1) 発表方法（研究・実践発表およびポスター発表）

研究・実践発表	ポスター発表
申込時に、以下より発表領域を選択してください。 ア. 保育園・幼稚園 イ. 小学校・中学校・義務教育学校等 ウ. 高校・中高一貫校、高専等 エ. 大学、専門学校等 オ. 教育委員会 カ. 医療・福祉 キ. 企業 ク. 地域等 ケ. その他	
発表は、口頭発表としますが、プレゼンテーション、映像機器などの使用は、発表者にお任せします。発表に必要なパソコンは、各自でご用意ください。	発表内容をポスター形式で掲示し、質疑に対する応答をします。ポスターを掲示するパネルの大きさは、横95センチ×縦190センチです。
1 実践 1 発表35分 発表20分＋質疑応答及び座長からのコメント15分	ポスターは原則として21日（月・祝）の10:00までに展示を完了してください。 在席責任時間 21日（月・祝） A：12:30～13:15／B：13:15～14:00 その他の時間帯は、在席する必要はありません。 在席時間に発表を行った場合、実績として認められます。

(2) 発表要件（研究・実践発表及びポスター発表）

- 1) 連名で発表する場合は、発表者のうちの一人を「発表責任者」とし、他の連名の方を「連名発表者」とします。一人で発表する場合は、そのまま発表責任者となります。
- 2) 会員でない連名発表者が会期を通してシンポジウム・ワークショップ・研究発表等に参加する場合は、発表費用に別途参加費が必要です。（3. 大会参加費と大会参加申込 を参照）
- 3) 複数の発表を申し込まれた場合、プログラム編成の都合から、連名発表者の発表時間が重なることもありますので、あらかじめご了承ください。
- 4) 発表責任者が発表できなくなった場合は、現地大会実行委員会へ連絡してください。その場合、連名発表者が会員であれば、代わりに発表することができます。会員でない連名発表者が代わりに発表する場合には、発表までに入会の手続きを完了してください。発表責任者と連名発表者が共に発表できない場合は、発表取り下げとなります。

* 参考（入会申込） 入会費：3,000円・年会費：5,000円



<http://www.peer-s.jp/admission.html>

B. 自主シンポジウム

(1) 発表方法

- 1) 自主シンポジウムは、95分（休憩時間を含む）、テーマ設定は自由です。
- 2) 企画者、司会者（ファシリテーター）、話題提供者、指定討論者全員が会場に来て、対面での実施を原則とします。発表に必要なパソコンは、各自でご用意ください。
- 3) やむを得ず、一部オンラインによる登壇者がいる場合は、来場する関係者で機器等の準備・設定を行ってください。大会側は対応することができません。
- 4) 自主シンポジウムに対応できる部屋数に限りがあるため、エントリー数によっては、抽選の上決定します。抽選に外れた場合は、オンデマンド発表が可能です。あらかじめご了承ください。

(2) 自主シンポジウム発表要件

- 1) 自主シンポジウムは、企画者が企画趣旨に基づき、司会者（ファシリテーター）、話題提供者、指定討論者等を決めるため、登壇者は会員に限定しません。
- 2) 自主シンポジウムは、企画者がお申し込みください。申込は1人各1題に限ります。
- 3) 会員でない司会者・話題提供者・指定討論者等が会期を通してWS・研究大会等に参加される場合は、別途参加費が必要です。（3. 大会参加費と大会参加申込 を参照）

5. 大会発表論文集について

大会発表論文集に掲載する原稿の体裁等は、研究紀要委員会が示す大会発表投稿規程の通りです。提出期限は、2026年6月30日(火)正午までです。発表申込後、各自で学会HPにアクセスし、第24回研究大会・福井大会の【大会発表論文集執筆について】のリンクから、①～⑤を確認の上、期日までに執筆・提出してください。

①研究倫理ガイドライン

②大会発表論文集投稿規程・執筆要項

③大会発表論文集原稿作成上の注意

④大会発表論文集テンプレート（研究・実践発表用）

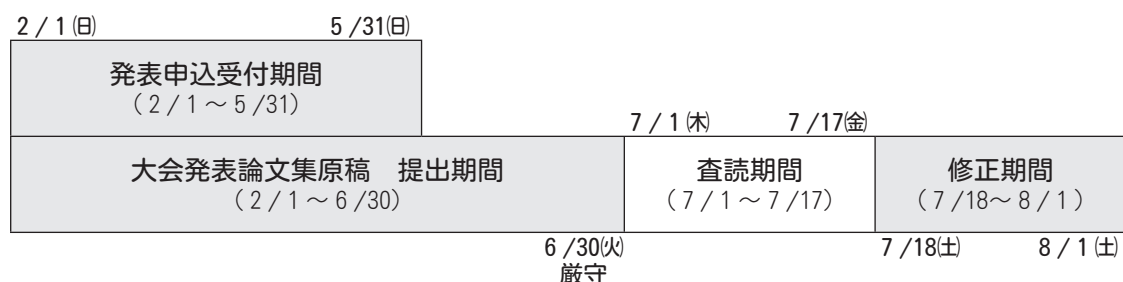
⑤大会発表論文集テンプレート（自主シンポジウム用）

* ポスター発表は、申込時の発表者・発表テーマ・概要等を掲載させていただきます。

日本ピア・サポート学会
ホームページ（研究大会ページ）QRコード



6. 発表申込の流れ



注) 発表申込のGoogleフォームには、以下の必須項目にチェックが必要です。

2026年度年会費を支払っています。

大会参加費は、5 / 31 (日) までに支払います。 支払い済 支払予定

連名発表者の発表費は、5 / 31 (日) までに支払います。 支払い済 支払予定

虚偽の申告をした場合は、発表が取り下げになることをご了承ください。

7. 発表申込の手続き

研究・実践発表（口頭発表）・ポスター発表・自主シンポジウムは、所定のGoogleフォームに必要事項を入力の上、Webでお申し込みください。以下のQRコードもしくは日本ピア・サポート学会HP「第24回研究会・福井大会」からお申し込み可能です。発表申込フォームから、大会参加申込もできるになっています。

●申込期間 2026年2月1日(日)～5月31日(日) 正午迄

●申込方法 右のQRコードもしくは学会HPからのWeb申込

URL (<https://forms.gle/5iLjUZEqi6okHjd99>)



●Web申込送信完了後、申込受付完了の返信が届きます。それをもって申込完了とします。その後は、前述の5.6.を参照の上、大会発表論文集の原稿執筆に取り掛かってください。

●参加費・発表費振込先

参加費・発表費は、Googleフォームに記載されている口座へお振込ください。

※振込手数料は、ご自身でご負担ください。

※発表費および大会参加費は、6 / 1 (月) までに振込を完了してください。6 / 1 (月) を過ぎると、発表申込は、自動キャンセルとなります。発表費は非会員の連名発表者がいる場合に必要となります。(4. 研究・実践発表およびポスター発表・自主シンポジウム を参照)

●大会発表論文集原稿締切 2026年6月30日(火) 正午迄(口頭発表・自主シンポジウム)

●提出方法 右のQRコードまたは、学会ホームページよりweb提出

URL (<https://forms.gle/HdPRAXka3YzfLL948>)



●WordとPDFの2種類をアップロードにより提出してください。

→提出ファイル名：発表種（口頭発表・自主シンポ）＋フルネーム

(例：口頭発表 福井 幸子)

8. 問い合わせ先

* 研究・実践発表のエントリー、参加申込に関するお問い合わせ

→福井大会実行委員会 fukuips2025@gmail.com

* 発表原稿送付および原稿作成に関するお問い合わせ（原稿の提出先ではありません。）

→研究紀要委員会 peer.genkou@gmail.com

9. アクセスと宿泊施設について

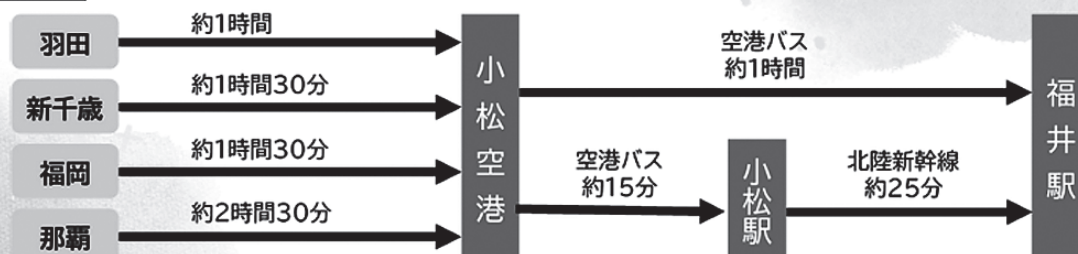
本大会では、旅行社等との連携はありません。各自で、交通・宿泊等の手配をお願いいたします。以下に、参考となる公共交通機関のアクセス情報と大会・情報交換会会場に近いホテル等をご紹介します。

大会期間は、秋の5連休の後半にあたり、余裕をもって大会に参加できる日程となっております。ぜひ、最後まで大会にご参加いただき、東尋坊、恐竜博物館、芦原温泉などをお楽しみください。たくさんの皆さまのご参加を現地実行委員一同、心からお待ちしております！

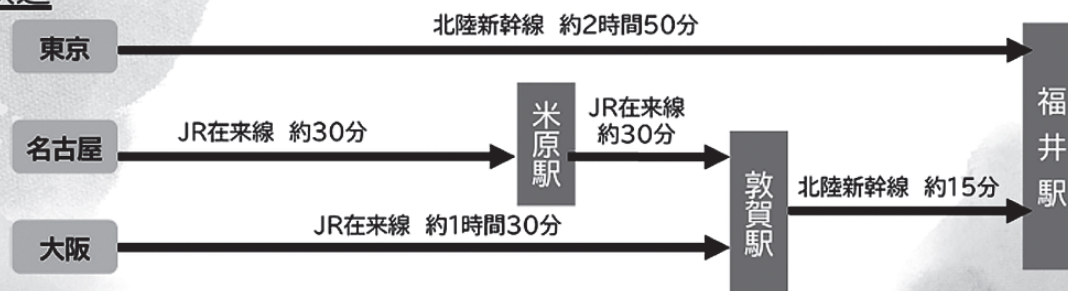
福井駅までの交通案内（現地からの最短時間）

※会場（AOSSA）は、福井駅から徒歩1分

飛行機



鉄道



自動車でお越しの方は、北陸自動車道「福井IC」をお降りになり、そのまま西進してください。（福井ICから会場まで約10分）

AOSSAの地下に、有料駐車場がございます。（営業時間 7:30～23:30）

●宿泊施設（大会会場 AOSSAまで、徒歩15分圏内）

宿泊施設名	住所	電話
ホテルエコノ福井駅前	福井市日之出 1-1-17	0776-23-5300
ホテル京福福井駅前	福井市日之出 1-18-1	0776-24-8800
コートヤード・バイ・マリオット福井	福井市中央 1-3-5	0776-50-6621
東横INN福井駅前	福井市大手 2-1-1	0776-29-1045
ドミーイン福井	福井市中央 1-18-1	0776-21-5489
福井マンテンホテル駅前	福井市中央 1-11-1	0776-20-0100
ホテルルートイン福井駅前	福井市大手 2-1-14	050-5576-7882
ホテルフジタ福井	福井市大手 3-12-20	0776-27-8811
福井プラザホテル	福井市大手 2-6-5	0776-24-1313
福井フェニックスホテル	福井市大手 2-4-18	0776-21-1800
センチュリオンホテル ヴィラスイート福井駅前	福井市日之出 2-2-3	0776-63-5835

●会場案内

